

株式会社コウサイ

2022年度 環境経営レポート

(対象期間:2022年9月～2023年8月)



発行日: 2023.10.6

改定日:

目 次

1. 組織の概要
2. 認証・登録の対象範囲
3. 組織体制図
4. 環境経営方針
5. 環境経営目標及び取組結果
6. 環境経営計画及び取組結果、次年度の取組内容
7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果
8. 代表者による全体の評価と見直し
9. 環境経営活動の紹介

1. 組織の概要

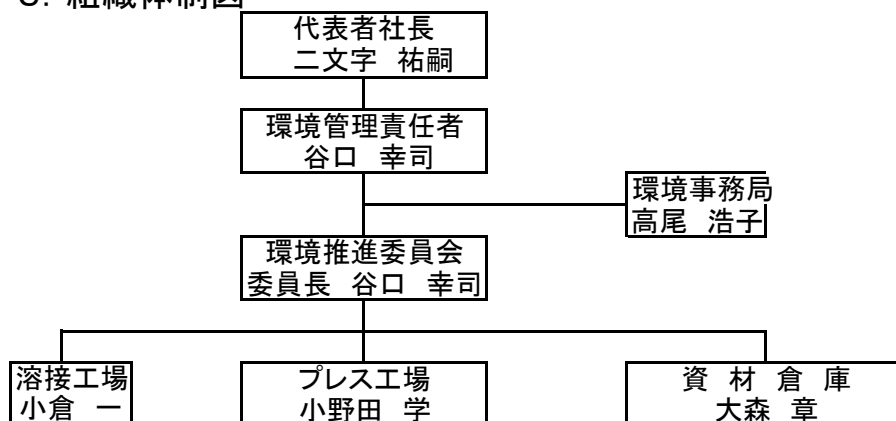
- (1) 名称及び代表者名
株式会社コウサイ
代表取締役社長 二文字 祐嗣
- (2) 所在地
本 〒709-0614 岡山県岡山市東区竹原830-3
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者 業務課長 谷口 幸司 TEL: 086-297-5795/FAX: 086-297-5797
担当者 事務所 高尾 浩子 E-mail: takao.h@5031.jp
- (4) 事業内容
金属加工部品の製造
主要製品: 鉄道ブレーキ部品、自動車防振ゴム用部品、港湾クレーン部品
- (5) 事業の規模
製品出荷額 約4億9千万円(2022年度)
- | | 本社工場 | 合計 |
|-----------|------|------|
| 従業員 (人) | 35 | 35 |
| 延べ床面積 (㎡) | 1155 | 1155 |
| 敷地面積 (㎡) | 6281 | 6281 |
- エコアクション21対象従業員数(本社工場) 35名 *2023年8月時点
- (6) 事業年度 9月～翌年8月

2. 認証・登録の対象範囲

登録事業者名: 株式会社コウサイ
対象事業所: 本社工場
対象外: -

活動: 金属加工部品の製造

3. 組織体制図



役割・責任・権限	
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
環境推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画案の審議 ・環境経営の実施状況の評価、見直し ・環境教育の内容検討、実施結果の評価 ・特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応を含む)
部門長 (プレス工場・溶接 資材倉庫)	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営方針

環境経営方針

当社は、金属プレス・溶接部品の製造を主とする事業活動において、資源を控え目につかうことにより、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油、LPG）。
3. 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。
4. 水道使用量の削減を推進します。
5. 化学物質使用量の削減（或いは適正管理）を推進します。
6. 環境に配慮した製品（またはサービス）の製造及び販売を推進します。
（例えば、環境配慮型製品の製造及び販売）
7. 地域の美化活動に積極的に参加します。
8. 環境経営のためのマネジメントシステムを継続的に改善します。
9. 本方針を全従業員に周知徹底します。

策定日：2020年5月19日

代表取締役社長 二文字 祐嗣

5. 環境経営目標及び取組結果

(1) 目標(中期目標)

年 度 項 目		2019年度 実績	2020年度		2021年度	2022年度
		'19/09~'20/08	'20/09~'21/05	'20/09~	'21/09~'22/08	'22/09~'23/08
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	171,240	127,145	169,527	236,470	234,057
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
電力使用量削減 購入先:関電→中部	kWh	374,634	278,166	370,888	367,141	363,395
	kg-CO ₂	125,128	92,907	123,876	191,281	189,329
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
ガソリン 使用量削減	L	3,197	2,374	3,165	3,133	3,101
	kg-CO ₂	7,418	5,508	7,344	7,270	7,195
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
軽油 使用量削減	L	628	466	622	615	609
	kg-CO ₂	1,620	1,203	1,604	1,587	1,571
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
LPG 使用量削減	Kg	12,358	9,176	12,234	12,111	11,987
	kg-CO ₂	37,074	27,527	36,703	36,333	35,962
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
II. 廃棄物排出量	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
一般廃棄物 削減	kg	排出量把	2020年度実績→	949.95	940.5	931.0
	対基準	握無し		△1%	△1%	△2%
産業廃棄物 削減	kg	546,380	405,687	540,916	535,452	529,989
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
III. 水使用量削減	m	317	236	314	311	307
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
IV. 化学物質使用量 削減	kg	1,942	1,442	1,923	1,903	1,884
	対基準		△0.84%	△1%	△2%	△3%
V. 環境配慮製品 販売	トン					
	対基準					

注1) 2019年度未把握項目は2020年度実績を基準に2021年以降削減実施とする。

注2) 電力の二酸化炭素排出係数は、
2021年8月までは、0.334 kg-CO₂/kWhを使用【関西電力の公表値:令和2年4月版】
2021年9月からは、0.521 kg-CO₂/kWhを使用【中国電力の公表値:令和3年9月時】

注3) 事業内容が、金属プレス・プレス品溶接である為、産業廃棄物の99%は、
再資源化対象の金属物である。

注4) 環境配慮製品販売は実績なし。
尚、本業部分(プレス・溶接)の取組みとして、生産精度の向上・効率化による
ロス削減活動を行っている。

(2) 2022年度の実績

本年度削減係数: 97%

No	項 目	年 度	2022年度の実績				
			2019年度	(2022年9月～2023年8月)			
			基準年度	目標	実績	達成度	評価
①	※. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準	171,240	234,057	235,558	99.4%	NG
							0.06%届かず
②	I. 電力使用量 削減	kWh	374,634	363,395	348,552	104.3%	OK
③	ガソリン使用量 削減	ℓ	3,197	3,101	3,619	85.7%	NG
④	軽油使用量 削減	ℓ	628	609	72	842.3%	OK
⑤	LPG使用量 削減	kg	12,358	11,987	15,127	79.2%	NG
⑥	II. 一般廃棄物 削減	kg	1,361	1,334	1,347	99.0%	NG
⑦	産業廃棄物 削減	kg	546,380	529,989	561,747	94.3%	NG
⑧	III. 水使用量削減	m ³	317	307	255	120.6%	OK
⑨	V. 化学物質使用 量削減	kg	1,942	1,884	2,289	82.3%	NG
⑩	V. 環境配慮製品 販売	—	販売実績値なし				

注1

注1) 2020年度実績値を基準に2023年97%削減実施とする。

(3) 実績評価

①CO2排出量削減 (達成度: 99.4%)

②電力使用量削減 (達成度: 104.3%)

③ガソリン使用量削減 (達成度: 85.7%)

④軽油使用量削減 (達成度: 842.3%)

⑤LPG使用量削減 (達成度: 79.2%)

⑥一般廃棄物削減 (達成度: 99.0%) ※2020年度実績を基準

⑦産業廃棄物削減 (達成度: 94.3%)

⑧水使用量削減 (達成度: 120.6%)

⑨化学物質使用量削減 (達成度: 82.3%) ※PRTR制度対象含有品なし

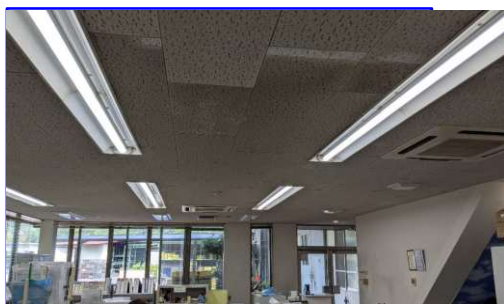
⑩環境配慮製品の販売 (達成度: --%) ※販売実績なし
生産精度の向上・効率化によるロス
削減活動実施中

主要エネルギー電力使用量のCO2排出量、昨年電力会社変更に伴い電力換算分のCo2排出比率は増加となっていたが、使用量自体の削減ができ、排出量ベースでも、他の増加項目分のカバーができ、目標達成できています。

(4) その他取組み

①照明設備の全面LED化 : 2020年1月実施済

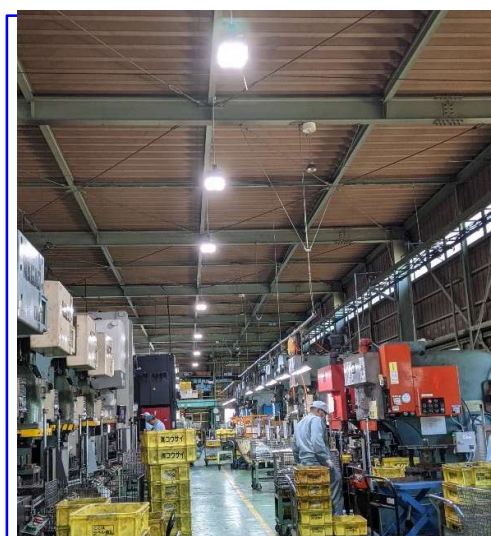
- ・工場内照明、倉庫照明、オフィス照明のLED化
- ・洗面所、通路照明のオートON・OFF化



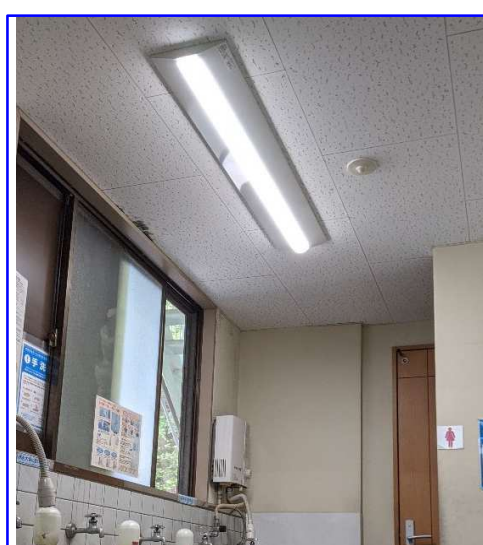
<照明> 事務所



<照明> 工場



<照明> 工場



<照明> 洗面所

② 『生産の指示書』兼『生産記録記入シート』の電子化

**2022年度(56期)より電子データを正データとして運用中
旧来の手配書ペーパーは、補助として未廃止**

【旧来作業フロー】

- ・1ロットの製品、部品の生産に際し、生産指示のA4単票の『作業手配書』が発行され生産現場へ渡される。
 - ・生産現場では、その指示に基づいて生産(プレス加工、溶接等)を行い、生産実数、検査記録等の実績データを、当手配書の指定枠へ記入して、事務所へ回送する。
- ⇒タブレット端末上に手配指示を移行、実績記入もタブレット入力とする
⇒手配書ペーパーの回収・保管は原則は廃止
生産品の送り状・表示シート、及びタブレット入力前のメモとして利用中

【現行運用の紙ベースの作業手配書】



【紙ベース内容をタブレット移植】



【期待する効果】

年間、約12,000件の生産手配で使用した紙資源の削減 → ×
図面、マニュアルの電子参照も行うので、改版時紙配布不要 → △
生産効率化による、エネルギー節約の効果 → ○
(タブレット化で収集を開始した生産時のデータを活用した
評価・分析の実施)

分析事例

設備稼働率チェックシート

設備名 250T超送プレス(1号機) 対象月 2023年3月
月別稼働率 40.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

設備稼働率チェックシート

設備名 250T超送プレス(1号機) 対象月 2023年3月
月別稼働率 40.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

設備稼働率チェックシート

設備名 250T超送プレス(1号機) 対象月 2023年3月
月別稼働率 40.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
44.8%	104.0%	1.13%	120.0%

生産設備毎の稼働率の分析
⇒設備負荷平準化
生産設備毎の段取・生産時間の分析
⇒ボトルネック作業の発見
集中対処の実施へ

社内リソースの有効利用化による
資源・エネルギーの効率化
不良や不用品排出削減での環境負荷の低減

③ 『3S』取組みによる効率化・無駄の削減活動

- ・作業動線の改善、無駄な作業を見つけて無くしていく。
- ・不要物の撤去、必要な用具は追加し、作業効率を図る。
(探す手間、取りに行く手間、順番待ちを減らす)
- ・MMIを考慮した設備の見直し。
(より使いやすく、より負担がなく)

● R5.3月27日

単 発



床の油が広がらないようにオイルキャッチャーを置いていますがすぐに浸み込んでしまうのでこまめに確認し、取替えを行っています。
油で滑らないようになるため、安全に作業できるようになっています。

順 送



ゴミ箱がホコリや油で汚れていたため拭きました。

順 送



清掃後



作業台製作の進捗状況



作業の合間で行っているため時間はかかりますが、各号機で使用する作業台の製作も徐々に進んでいます。



● R5.3月27日

清掃中





ラジカセ置場

清掃中





ゴミ袋置場

清掃中





キャスター置場

今回の活動

先日、案を出してもらった物の定置決めの中から

- ◎CDラジカセ置場の表示
- ◎ゴミ袋置場の表示
- ◎外にあるから空カゴ置場の表示を実施しました

今後は…

まだ実施出来ていない項目も着手・実行できるよう時間を取りたいと思います。

6. 環境経営計画及び取組結果と次年度の環境経営目標及び環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
電力使用量の削減		
・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	△	生産現場ではクールビズ適用不可で気温環境も年々厳しくなっており、冷房目標温度の厳守は安全面・健康面から困難。安全面との両立に向けもっと多くの工夫が必要で、今後も対策を考える。
・サーキュレーターの設置	—	設置なし
・不要照明の消灯	◎	階段・トイレ等自動消灯で対応。昼休憩時の消灯を実施。
・設備の空転禁止	◎	使用時のみ運転。 但し、短時間の停止・再始動が非効率な場合は継続稼働しする。
		今後、更なる省エネ項目を明確にし活動する
ガソリン使用量の削減		
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
		今後、更なる省エネ車の導入なども推進する
軽油使用量の削減		
・不要なアイドリングストップ	—	使用車なし
・急加速・急停車の防止	—	使用車なし
・効率的な移動	—	使用車なし
LPG使用量の削減		
・ストーブの使用基準の作成	—	運用なし
・室温管理（20℃を基準）	△	もっと省エネ意識を持たせ、ムダな使用を無くして行く。
・部屋開放の禁止	△	換気は必要な環境であり、室温保持が優勢できない
・ウォームビズの実施	○	大体出来てきた。
一般廃棄物の削減		
・実態調査	◎	実態管理なしから、排出量の把握実施済。
・分別の徹底	◎	実施済
・来年度以降の目標設定	○	分別を徹底し排出の削減に努める。
産業廃棄物の削減		
・実態調査	◎	正確な排出量の把握、種別別管理できている。
・素材ボックスの設置	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	◎	設置済
・来年度以降の目標設定	○	削減に努める。
水道水使用量の削減		
・節水の周知徹底	◎	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
化学物質使用量の削減		
・化学成分、使用量実績など調査	○	品目の調査、PRTR制度対象物質なしは確認済
・来年度以降の目標設定	△	適切使用の推進中だが、不良発生抑止郵政で使用量上昇中。
製品への環境配慮		
・RoHS指令配慮設計	—	使用なし
・PRTR法規制物質の使用抑制	—	使用なし
・市場・顧客情報の調査	—	使用なし
・来年度以降の目標設定	—	

次年度以降の目標(中期目標)

項 目		年 度	2022年度 実績	中期目標値(削減目標)		
				99.5%	99.0%	98.5%
				2023年度	2024年度	2025年度
			'22/09~'23/08	'23/09~'24/08	'24/09~'25/08	'25/09~'26/08
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂		235,558	234,381	233,203	232,025
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
電力使用量削減 購入先: 中電	kWh		348,552	346,809	345,066	343,324
	kg-CO ₂		181,596	180,688	179,780	178,872
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
ガソリン 使用量削減	L		3,618.7	3,600.6	3,582.5	3,564.4
	kg-CO ₂		8,395	8,353	8,311	8,269
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
軽油 使用量削減	L		72.3	71.9	71.6	71.2
	kg-CO ₂		187	186	185	184
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
LPG 使用量削減	Kg		15,126.9	15,051.3	14,975.7	14,900.0
	kg-CO ₂		45,381	45,154	44,927	44,700
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg		1,346.9	1,340.1	1,333.4	1,326.6
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
産業廃棄物 削減	kg		561,747.0	558,938.3	556,129.5	553,320.8
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
III. 水使用量削減	m ³		255.0	253.7	252.5	251.2
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
IV. 化学物質使用量 削減	kg		2,289.6	2,278.2	2,266.7	2,255.3
	対基準			△0.5%	△1%	△1.5%
V. 環境配慮製品 販売	トン					
	対基準					

注2

- 注1) 2022年度実績を基準に2023年度以降、年0.5%ずつの削減を実施する。
- 注2) 電力の二酸化炭素排出係数は、
0.521 kg-CO₂/kWhを適用【中国電力の公表値: 令和3年9月時点】
- 注3) 事業内容が、金属プレス・プレス品溶接である為、産業廃棄物の99%は、
再資源化対象の金属物である。
- 注4) 環境配慮製品販売は実績なし。
尚、本業部分(プレス・溶接)の取組みとして、生産精度の向上・効率化による
ロス削減活動を行っている。

7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
公害防止組織整備法	特定工場の公害防止統括者・公害防止管理者の選任と届出	遵守
大気汚染防止法	規制物質(ばい煙、揮発性有機化合物、粉塵、有害大気汚染物質、自動車排出ガス)を排出する特定施設の届出、規制基準の遵守、排出濃度の測定と記録、事故時の報告	――
岡山市公害防止条例	ばい煙等の規制基準の遵守、特定工場・一般工場等の届出、集塵装置・排水処理施設の設置、事故時の報告	――
水質汚濁防止法	公共用水域への排出水の排出基準の遵守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	――
下水道法	公共下水道を使用して下水を排水する特定事業場・特定施設の届出、排水基準の遵守、水質の測定と記録、事故時の届出	――
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査の実施	遵守
騒音・振動規制法	指定地域内の特定施設の届出、規制基準の遵守	遵守
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設の廃止時の土壌汚染状況の調査と報告、土地の形質の変更時の届出、	――
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	遵守
自動車リサイクル	使用済自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し	遵守
容器包装リサイク	識別マーク表示、(特定事業者)容器包装のリサイクル	――
フロン回収破壊法	業務用空調冷凍機器の廃棄時のフロン類の回収	廃棄なし 使用機器管理
省エネルギー法	エネルギー管理統括者・エネルギー管理者等の届出、エネルギー使用に関する定期報告書・中長期計画書の提出	――
PRTR法	第1種指定化学物質の排出・移動量の届出、MSDSの提供	――
消防法	(防火対象物)防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持(危険物取扱所)設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守
岡山市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守、	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は概ね遵守されていることを確認しました。環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し

- ・3S活動が定着しました
- ・産業廃棄物の混廃回収ボックスを無くすことができました
(廃棄時に金属部とプラ部分を分ける事で、対応しています)

2023年10月6日
代表取締役社長 二文字 祐嗣

9. 環境経営活動の紹介



<エコアクション掲示板>



<節水>



<エアコン> エコ運転



<ゴミ分別> 廃プラ



<ゴミ分別> 木くず



<ゴミ分別> 金属スクラップ



<ゴミ分別> 一般



<ゴミ分別> 金属スクラップ



<ゴミ分別> ダンボール



<清掃活動>



<清掃活動>

以 上